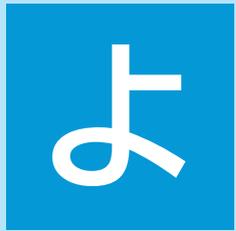


元気で明るい
笑顔あふれるまち



目次

I	はじめに	3
II	計画策定編	
1	よこせと地域とコミュニティ計画の歴史	8
2	よこせと地域の ^{げんきよう} 現況	10
3	第2期よこせとコミュニティ計画策定に向けて	12
III	計画本編	
1	理念と将来像	24
2	計画の取組期間	26
3	計画内容	28
IV	資料編	
1	コミュニティ計画について	42
2	計画策定の経過	45
3	計画策定参加のみなさん	46



よろこびいっぱい



わしおやま
鷲尾山の山頂から一望できるよこせとの街並み

YOKOSETO

I はじめに



元気で明るい笑顔
あふれるまちへ

新型コロナウイルス感染症が流行し始めてから早3年が経ちました。地域の活性化のため、子どもたちのため、また南海大地震への備えなど、取り組んできたことが、細々としか実行できておらず、歯がゆい思いをしています。

コロナ禍により、2018年度（平成30年度）に策定した『第1期よこせとコミュニティ計画（以下、第1期計画）』の推進もままならない状況でしたが、5年間の計画期間の終了に伴い、2022年度（令和4年度）から『第2期よこせとコミュニティ計画（以下、第2期計画）』の策定に向けて、見直しに取りかかりました。

よこせと連携協議会は安全安心部会、子ども部会、福祉部会、そして活性化部会の4部会体制で活動しており、計画更新に向けた話し合いは主に部会ごとで行いました。主体となって取組を推進してきた部会自らがこれまでの活動を振り返り、整理しながら計画をつくりあげたので、第1期計画と比べ、より計画性、実行性のある取組になったのではないのでしょうか。

また、部会の取組と併せて、よこせと地区行事カレンダーや広報紙「よこせと連携ニュース」、ホームページ等の情報発信・収集の取組にも、今まで以上に力を入れていきたいと考えています。

私事ではありますが、2019年（令和元年）5月に亡くなった、故岡田 法生さんとは、『横浜瀬戸コミュニティ計画』から第1期計画の策定・推進に至るまで、およそ25年にわたって二人三脚で取り組んできました。今は亡き岡田さんに第2期計画の完成を報告したいと思います。

この新しい計画の実践に向け、地域コミュニティ推進課をはじめとする高知市や関係機関とも連携しながら、コロナに負けず、元気で明るい笑顔あふれる「よこせと」を目指して、みんなと手を携えて頑張っていく所存です。

よこせと連携協議会 会長 江口 富博



「第2期よこせとコミュニティ計画」の策定に当たって

このたび、市民と行政の協働により、「元気で明るい笑顔あふれるまち」を将来像とした『第2期よこせとコミュニティ計画（以下、第2期計画）』を策定いたしました。策定に当たりましては、ご協力いただきました皆様に、心から感謝申し上げます。

本市では、地域内連携協議会がその活動に計画性と実行性を持ち、将来にわたって持続的なまちづくりを行っていくための指針として、「コミュニティ計画」の策定を推進しております。よこせと地域においては、『第1期よこせとコミュニティ計画（以下、第1期計画）』の策定から5年が経過したことから、社会情勢や地域課題等を反映した、第2期計画の策定に取り組んでいただきました。

第1期計画では、地域内初となる子育てサロンの立ち上げやホームページ、SNSの開設による広報の強化等が実現しましたが、新型コロナウイルス感染症の流行と重なり、計画推進には大変ご苦労されたことと思います。

そんな中、より実行性のある計画へのアップデートを目指し、第1期計画の進捗状況を振り返り、事業内容の見直しや部会体制の強化に向けた検討が進められ、第2期計画が完成いたしました。

計画の更新に当たっては、横浜小学校・中学校生や両校PTAなど、若い世代の意見が反映されています。『横浜瀬戸コミュニティ計画』から第1期計画の策定・推進に至るまで、およそ25年にわたって江口会長とともによこせと地域のまちづくり活動を牽引された故岡田 法生さんの想いが次世代にも引き継がれ、活動に更なる広がりを見せてくれることを期待しています。

本市といたしましても、第2期計画の実現に向けて、地域の皆様とともに力を合わせて取り組んでまいります。

よこせと地域の皆様におかれましては、本計画をご覧いただき、多くの方がよこせと地域のまちづくり活動にご参加いただきますよう、心からお願い申し上げます。

高知市長 岡崎 誠也

こ

こころあったか



横浜小学校区民大運動会

YOKOSETO

II 計画策定編

多くの人たちの思いを集め、「よこせと地域」の夢と未来を語り合ってきました。

これらの未来を実現するためには、その道筋をはっきり示すことが大切です。

計画策定編は、計画策定に関わった人たちだけではなく、計画策定に参加できなかった人や「よこせと地域」以外の人たちにも、その道筋を共有できることを意識しながら作成しました。

1

よこせと地域とコミュニティ計画の歴史



横浜瀬戸コミュニティ計画の策定～横浜瀬戸コミュニティ計画推進市民会議の活動

1994年（平成6年）頃の横浜瀬戸地域では、大規模な宅地造成に伴い人口が急増し、道路網や下水道等の都市基盤の整備が急がれていました。また、新旧の市街地の連携や地域コミュニティを形成していくうえで、住民同士の新たな交流や様々な活動を行っていく必要があり、その指針となるまちづくり計画を策定するため「横浜瀬戸コミュニティ計画策定市民会議」が設立されました。策定市民会議では、「まちあるきウォッチング」や地区全世帯へのアンケート調査による現状分析を行い、地区の将来像や課題に対する具体的な取組等をまとめ、市長への提言を経て、行政計画としての『横浜瀬戸コミュニティ計画』を策定しました。

【将来像】

日本に誇れる良質な
住居地区をつくらう

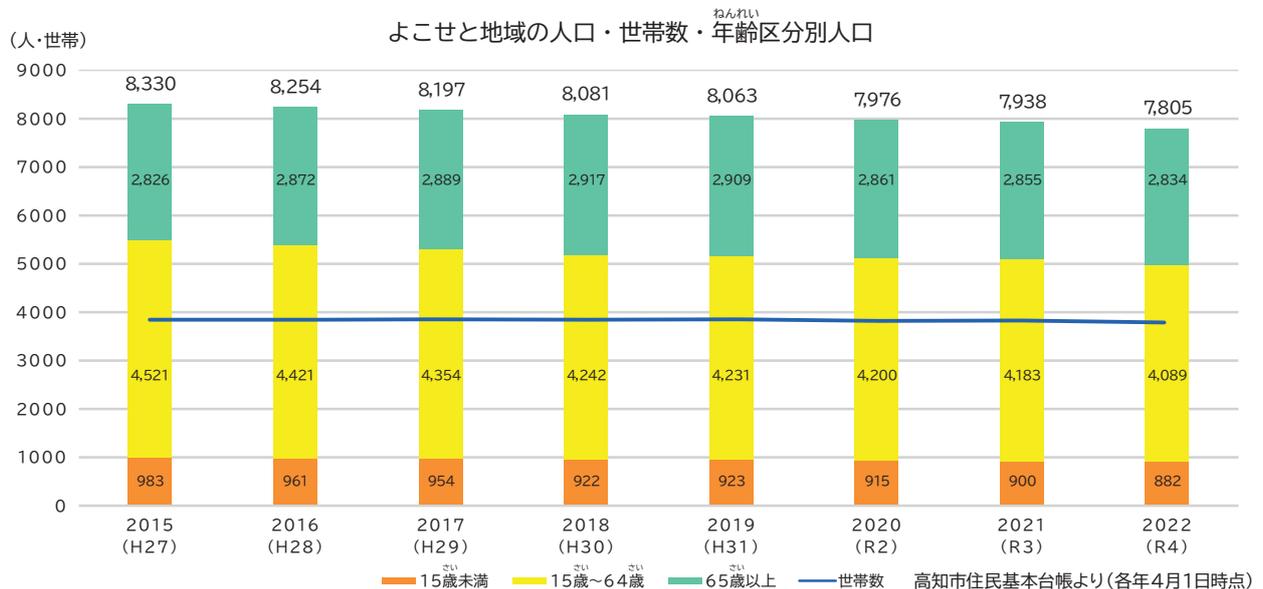
【4つのテーマ】

1. 道路網や下水道などの都市基盤整備を加速・充実させよう
2. 自然を守り自然を活かす地域として整備しよう
3. 地域の人とのふれあいを大切にするまちにしよう
4. 子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちにしよう

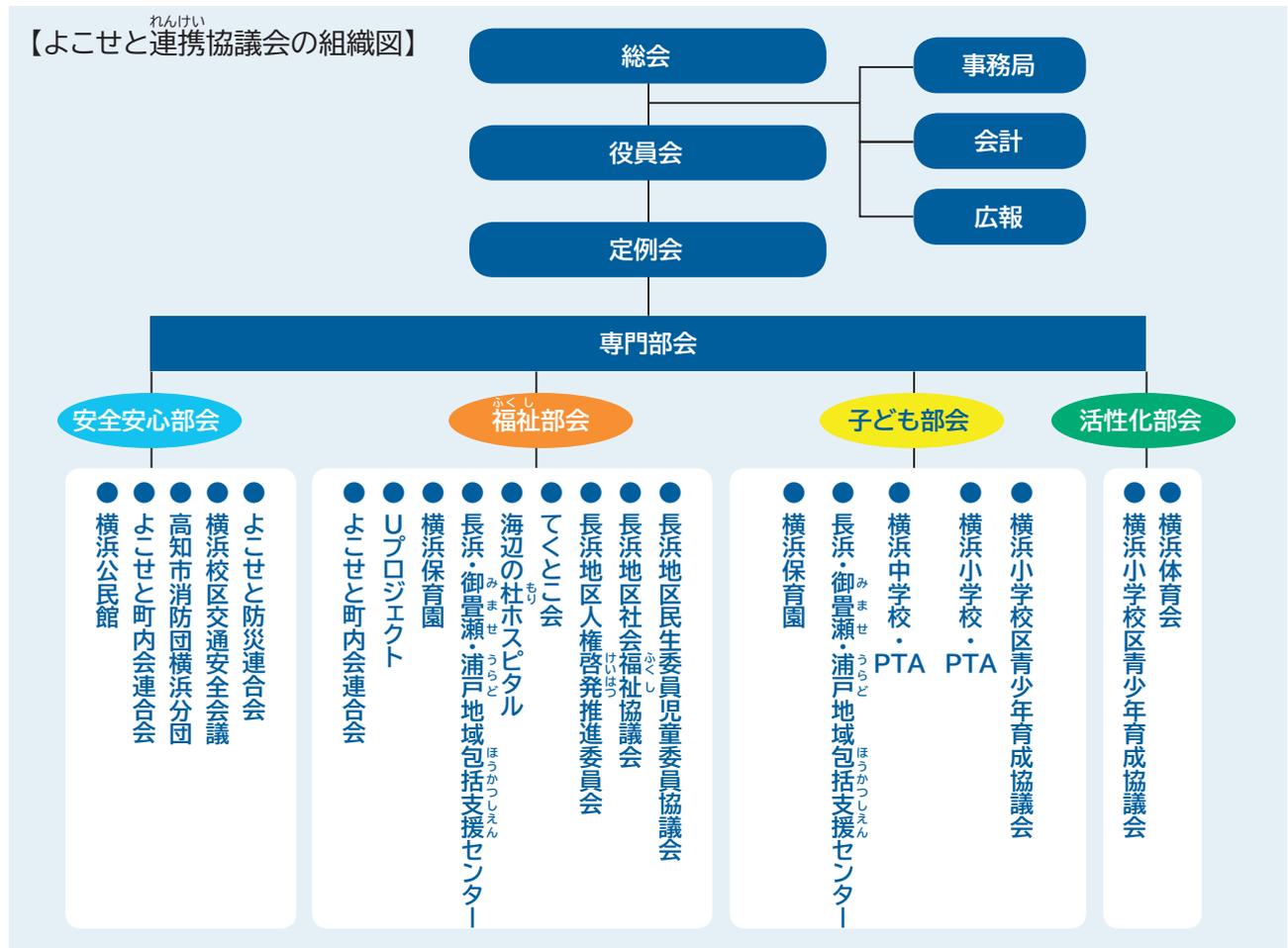
横浜瀬戸コミュニティ計画を推進するため、1996年（平成8年）に「横浜瀬戸コミュニティ計画推進市民会議（2003年（平成15年）に「よこせと・まちづくり市民会議」へ名称変更）」を結成し、約25年間、横浜瀬戸地域のまちづくりに関わる様々な活動を市民主体、または市民と行政の協働により行ってきました。

よこせと連携協議会の設立～第1期よこせとコミュニティ計画2018-2022の策定

2022年（令和4年）4月現在、よこせと地域には7,805人が暮らしています。過去8年間の人口推移を見ると、2015年（平成27年）の8,330人から525人減少しています。また、65歳以上の高齢人口に大きな変化は見られないものの、15歳未満の区分、15歳～64歳までの区分の人口が減少しています。



道路網や下水道などの都市基盤整備が進む一方で、少子高齢化の影響による地域活動の担い手不足や家族形態の変化による単身世帯の増加、住民同士のつながりの希薄化など、社会情勢の変化に伴い、特にソフト面の地域課題が生じてきました。このような状況に対応するため、2015年（平成27年）、地域内の各種団体による連携組織として「よこせと連携協議会」が設立され、地域課題の解決に取り組む体制が作られました。



「横浜瀬戸コミュニティ計画」の策定から長期間が経過し、多くの計画記載事業が「実施済」や「実施中」であること、また、社会情勢の変化から新たな地域課題が出てきたこと等から、計画更新の必要性が生じてきました。2018年（平成30年）、よこせと連携協議会が主体となり、「元気で明るい笑顔あふれるまち」を将来像に掲げた「よこせとコミュニティ計画 2018～2022（第1期）」を策定しました。これにより、よこせと・まちづくり市民会議は、その役割をよこせと連携協議会へ引き継ぎ、2019年（平成31年）に発展的に解散しました。

【将来像】
元気で明るい
笑顔あふれるまち

【基本目標】

1. 安全に安心して暮らせる住み心地の良いまち
2. 地域の宝を活かした豊かなまち
3. 地域がつながる楽しいまち



【よこせと海辺のにぎわい市】



【南嶺ハイキング】



【浦戸湾海洋調査ニロギ釣り】

2

よこせと地域の現況 げんきょう



位置・地勢

よこせと地域（横浜小学校区）は、高知県高知市の南部に位置し、北部にはみどり豊かな鷲尾山や宇津野山が、南部にはツツキ島、衣ヶ島、玉島が浮かぶ浦戸湾に沿って市街地が広がっており、自然と市街地のバランスが取れた地域です。

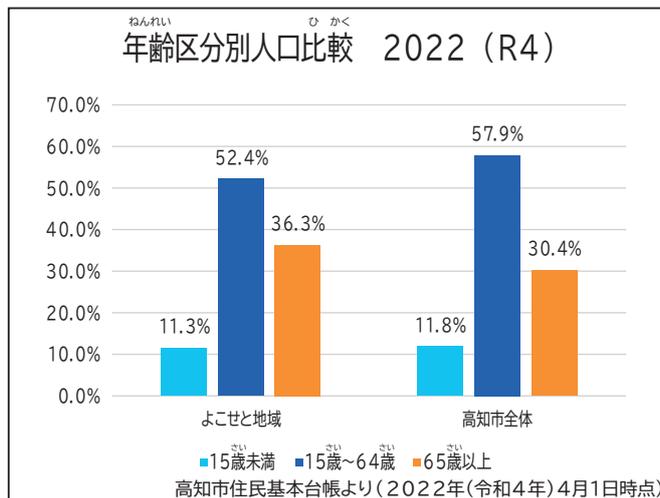
また、地域内には、次のような地域資源があります。

項目	名称
公共施設	①消防団横浜分団 ②瀬戸水再生センター ③瀬戸窓口センター
公民館・集会所	④横浜文化センター ⑤西ノ谷公民館 ⑥横浜グリーン団地集会所 ⑦横浜中央団地集会所 ⑧瀬戸公民館 ⑨瀬戸椿ヶ丘公民館 ⑩ヤイノテ公民館 ⑪瀬戸西町公民館 ⑫瀬戸東町公民館 ⑬瀬戸南町公民館
教育関連施設	⑭横浜保育園 ⑮横浜中学校 ⑯横浜小学校 ⑰瀬戸保育園 ⑱瀬戸東保育園
医療・福祉施設	⑲ケアハウス花の郷高知 ⑳総合福祉施設ヘリオス ㉑横浜病院 ㉒海辺の杜ホスピタル ㉓つむぎ診療所 ㉔長浜・御壹瀬・浦戸地域包括支援センター サテライト ㉕てくとこ会 ㉖Uプロジェクト ㉗野田眼科 ㉘塩見整形外科 ㉙梅原産婦人科
代表的な企業・量販店等	⑳コスモス高知横浜店 ㉑mac 横浜東店 ㉒株式会社SKK ㉓サンシャインヴィアン店 ㉔サニーマート瀬戸店

人口

よこせと地域の人口は2022年（令和4年）4月1日（住民基本台帳）時点で7,805人、世帯数は3,791世帯となっており、1世帯あたりの平均世帯人数は2.06人/世帯となっています。

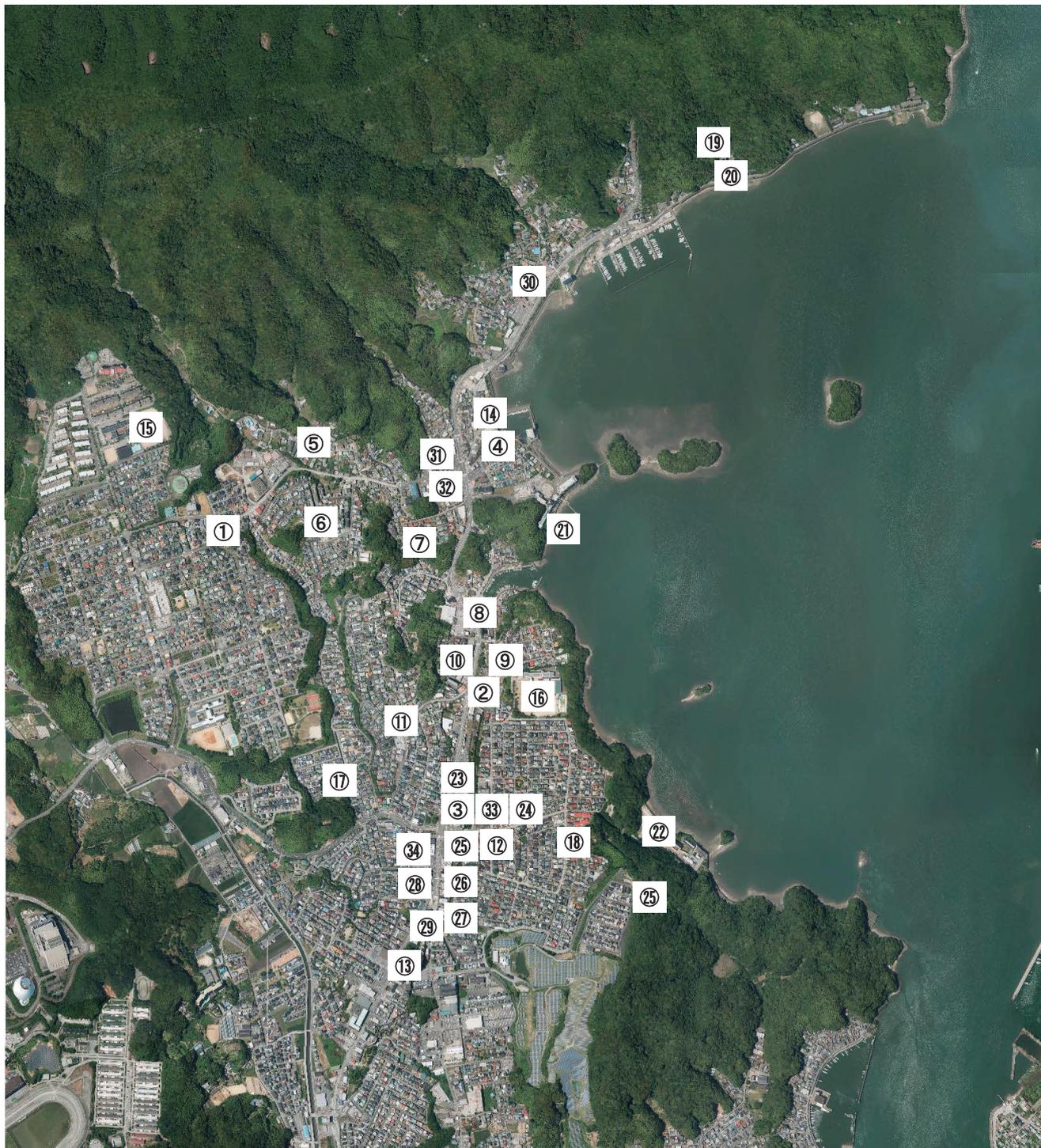
また、65歳以上の高齢人口は2,834人で、よこせと地域の人口の36.3%を占めており、高知市全体の高齢人口（97,373人/30.4%）を上回っています。



		よこせと地域	高知市全体
人口	15歳未満	882	37,724
	15歳～64歳	4,089	185,625
	65歳以上	2,834	97,373
	計	7,805	320,722
世帯数		3,791	164,084
平均世帯人数		2.06	1.95

高知市住民基本台帳より(2022年(令和4年)4月1日時点)

●よこせと地域の地図



3

第2期よこせとコミュニティ計画 策定に向けて～アンケート調査の実施～



アンケート調査の実施

第2期よこせとコミュニティ計画を策定するに当たって、よこせと地域のまちづくり活動の現状・課題を把握し、より効果的な計画づくりの参考とするため、アンケート調査を行いました。

●住民アンケート調査

調査対象：よこせと地域に在住する13歳以上の住民のうち、無作為抽出された1,500人

実施期間：2022年（令和4年）4～5月

回収結果：370件（回収率24.7%）

●横浜中学校アンケート調査

調査対象：横浜中学校3年生120人

実施期間：2022年（令和4年）5月

回収結果：104件（回収率86.7%）

●横浜小学校アンケート調査

調査対象：横浜小学校5・6年生117人

実施期間：2022年（令和4年）5月

回収結果：114件（回収率97.4%）

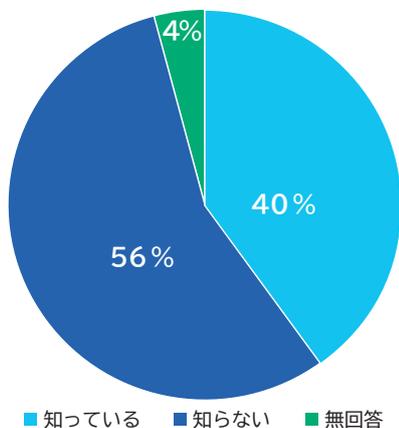


子どもたちの率直な意見も
計画に反映されています！

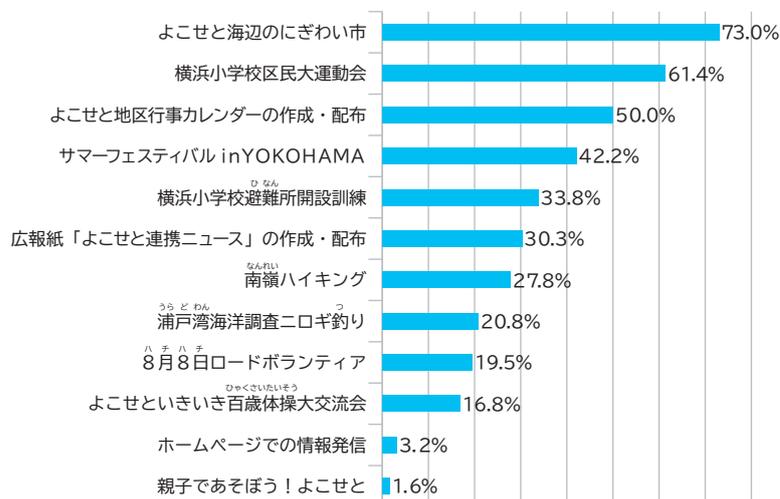
横浜中学校マスコットキャラクター
よこぴよん

アンケート調査結果①（住民アンケート調査結果より抜粋）

●よこせと連携協議会の認知度（選択式）



●よこせと連携協議会の主な取組の認知度（複数選択式）



●よこせとコミュニティ計画事業・今後の取組候補の「重要度」「満足度」ランキング(5段階評価回答から算出)

	重要度	満足度
第1位	避難訓練や避難所開設・運営訓練等	祭りやイベント等地域を盛り上げる取組
第2位	交通安全の意識啓発	避難訓練や避難所開設・運営訓練等
第3位	道路環境の改善	交通安全の意識啓発
第4位	防災意識の啓発	地域住民が心も体も元気でいられる環境
第5位	高齢者世帯等の見守り	住みなれた地域で安心して暮らせる環境

⋮

重要度の順位が高く、満足度の順位が低いほど、改善すべき優先順位が高い事業であると推測すると... ?



推測されること

- ・祭りやイベント等の取組は満足度が高い→維持
- ・防災や交通・道路の取組は概ね重要度・満足度が一致→維持
- ・高齢者世帯等への見守りは重要度に対して満足度が低い→要改善

第6位	防災意識の啓発
第7位	道路環境の改善
第13位	高齢者世帯等の見守り

※ 19位中



●よこせと地域の「良いところ」「もう少し良くしたいところ」(記述式)

地域の良いところ

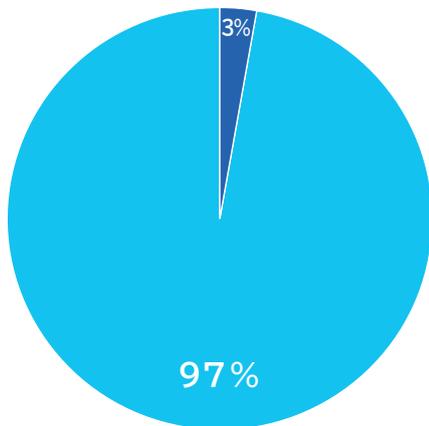
- まちがきれい
- 静かで落ち着いている
- 自然が豊か
- 自然と利便性のバランス
- 地域活動が活発
- スーパーや学校、病院、銀行等の施設が揃う
- 住民同士の仲が良い
- 地域のつながり・交流がある
- 高台があり、津波の避難がしやすい

地域のもう少し良くしたいところ

- 公共交通機関
- 飲食店や商業施設の充実
- 防犯灯が少ない
- 交通ルールの順守
- 歩道の整備
- 地域全体が参加できる行事
- 公園の環境整備
- 子どもの安全な遊び場の確保
- 若い世代の地域活動への参加

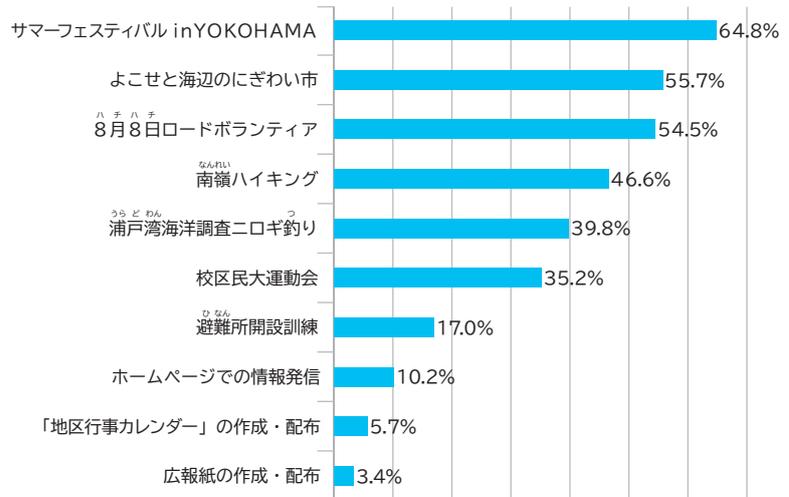
アンケート調査結果②（横浜中学校アンケート調査結果より抜粋）

●よこせと連携協議会の認知度



■ 知っている ■ 知らない

●よこせと連携協議会の主な取組の認知度（複数選択式）



●よこせとコミュニティ計画事業・今後の取組候補の「重要度」「満足度」ランキング（5段階評価回答から算出）

	重要度	満足度
第1位	避難訓練や避難所開設・運営訓練等	交通安全の意識啓発
第2位	道路環境の改善	住みなれた地域で安心して暮らせる環境
第3位	交通安全の意識啓発	祭りやイベント等地域を盛り上げる取組
第4位	住みなれた地域で安心して暮らせる環境	避難訓練や避難所開設・運営訓練等
第5位	防災意識の啓発	道路環境の改善



横浜中学校マスコットキャラクター
よこぴよん

※ 19位中
防災や交通・道路、地域で安心して暮らせる環境が重要だと、多くの子どもたちが思っているようだね！祭りやイベントの満足度も高いね！



●よこせと地域の「良いところ」「もう少し良くしたいところ」（記述式）

地域の良いところ

自然が豊か

まちがきれい

静か

人

あいさつ

ボランティア活動

交流がある

地域のもう少し良くしたいところ

ゴミが落ちている

ポイ捨て

道路の安全

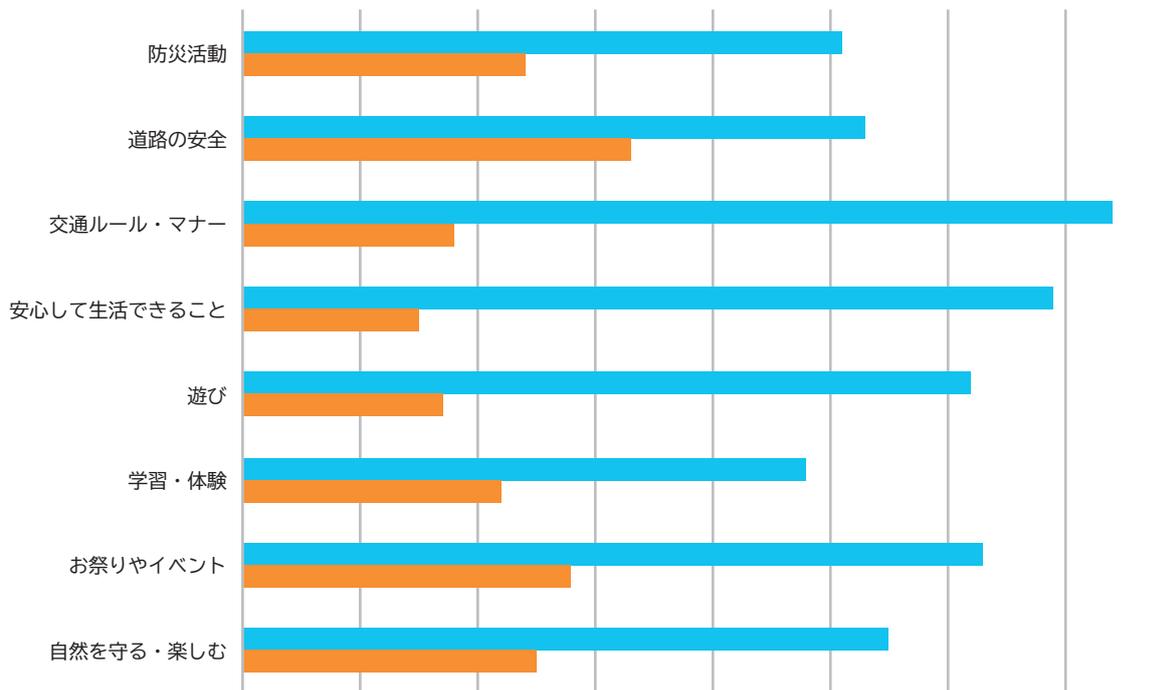
公園の整備

騒音

イベントをしてほしい

アンケート調査結果③（横浜小学校アンケート調査結果より**抜粋**）

●地域の「良いところ」「もう少し良くしたいと思うところ」(複数選択式)



※回答数

●地域のために「自分たちができること」「地域の人たちにしてほしいこと」(記述式)

地域のために **自分たちができること**

ゴミ拾い・掃除

交通ルール・マナーを守る

人が困っていたら助ける

ポイ捨てをしない

避難経路の確認

イベントや体験の準備や手伝い、計画

あいさつをする

人と話して仲良くする

地域の人たちと協力する

地域の人たちにしてほしいこと

清掃活動の実施

交通ルール・マナーを守る

祭りやイベントの開催

ポイ捨てをしない

交通安全指導

見守り・パトロール

声をかけてほしい

まちが間違いを注意してほしい

子どもとの交流

子どもたちも活動に関わり
たいと思っているようだね!



3

第2期よこせとコミュニティ計画 策定に向けて～第1期計画の振り返り～



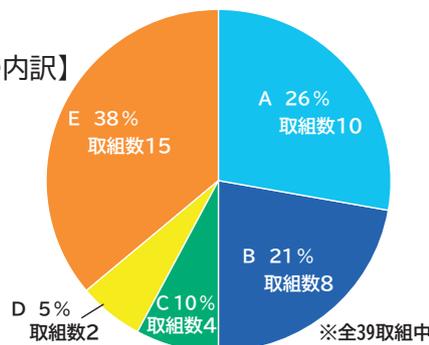
「第2期よこせとコミュニティ計画」を策定するに当たり、第1期計画の振り返りを行いました。計画事業の進捗状況や継続の必要性の有無等の観点から、部会（安全安心部会、福祉部会、子ども部会、活性化部会）ごとの取組及びよこせと連携協議会全体にかかる取組を5段階で評価し、第2期計画事業の立案に役立てました。

また19ページには、関連する高知市の取組の成果（抜粋）についても記載しています。

【評価基準】

A	従来の取組を維持し、成果を維持する
B	従来の取組を強化し、成果を向上させる
C	従来の取組を見直し、成果を向上させる
D	取組は残し、長期で検討する
E	取組自体を見直す

【評価の内訳】



第1期よこせとコミュニティ計画の評価（安全安心部会）

【取組1】防災学習会を開催するなど防災意識の啓発活動を実施します

内容	評価	評価の理由
防災学習会を開催し、起震車体験や家具の固定の呼びかけ、土砂災害危険箇所の周知等に取り組みます	B	町内会単位でも、よこせと全体でも取組を進めていく必要があるため
“カチカチキッズ”を結成し、災害に対する呼びかけや火の用心の見回りなどを行います	A	対象を大人にも広げ、継続して取り組む必要があるため

【取組2】避難訓練や避難所開設・運営訓練を実施し、大災害に備えます

内容	評価	評価の理由
横浜中学校の避難所運営マニュアルを策定します	E	達成済のため。マニュアルを活かして避難所開設・運営訓練を実施していく
避難経路マップを活用した避難訓練や災害時の町内放送訓練等を実施します	A	継続が必要な取組であるため
避難所運営マニュアルを活用した避難所開設・運営訓練を実施します	A	継続が必要な取組であるため
避難設備の充実に向けて、地域からの持ち寄りの呼びかけ等に取り組みます	E	「避難所開設・運営訓練の実施」の取組と関連性が高いため、一つの取組としてまとめる

【取組3】道路環境の改善に向けて取り組みます

内容	評価	評価の理由
暗い交差点など危険な場所を調査、確認します	A	けいぞく 継続が必要な取組であるため
通学路等の危険箇所を調査点検し、関係機関に改善を要望します	E	「危険な場所の調査・確認」の取組とまとめる

【取組4】交通安全の意識啓発に取り組みます

内容	評価	評価の理由
子どもたちを中心に、自転車乗車時のヘルメット着用を推奨します	A	けいぞく 継続が必要な取組であるため
通学路の安全見守り・指導を行います	A	けいぞく 継続が必要な取組であるため

第1期よこせとコミュニティ計画の評価（福祉部会）

【取組1】住みなれた地域で安心して暮らせる環境づくりに取り組みます

内容	評価	評価の理由
「支え合いマップ」などを作成し、向こう三軒両隣を意識した“ご近助力”の強化に取り組みます	C	過去5年間、取り組むことができなかったため、方法を見直す
自分達が住む地域の課題を共有したり、利用できる制度などについて学ぶ勉強会を開催し、地域の見守り力を高めます	B	部会及び一部の町内会で一定取り組んだが、新しい方法を導入し、さらに力を入れていく
地域内の福祉施設や行政等と連携して、一人暮らしの高齢者などが、自宅で安心して暮らせる地域づくりに取り組みます	E	「地域の見守り力を高める」取組とまとめる

【取組2】地域住民が心も体も元気でいられる環境づくりを行います

内容	評価	評価の理由
日頃からの健康づくり活動として、関係機関と連携した健康相談や百歳体操、レクリエーションなどを実施します	B	ひゃくさいたいそう 百歳体操に取り組んでいる地域もあるが、周知や、新規会場の立ち上げ等にも取り組む
様々な交流の場として、子どもから高齢者まで交流できる居場所づくりに取り組みます	B	取組は継続するが、子育てサロンやそれをおして新たな世代間交流の場づくりを検討する
ヨネッツこうちなどのスポーツ施設を地域が利用しやすいような仕組みづくりとして、利用者の負担軽減などを検討・提案します	E	じっし 実施困難と判断したため

第1期よこせとコミュニティ計画の評価（子ども部会）

【取組1】子どもたちの遊び場について検討します

内容	評価	評価の理由
横浜小学校運動場の平日夕方以降や土日の活用について、時間配分などのルールを作ります	E	達成済のため
遊具があり、ボールで遊べるなど、子どもたちが遊びやすい公園の整備に向けて検討します	B	取組は継続するが、公園情報の周知も併せて行うため

【取組2】子どもたちが広い視野を持てるように、様々な分野の活動を体験できる環境をつくります

内容	評価	評価の理由
スポーツ、文化、植物、天文、料理など様々なテーマで、子どもが積極的に関わることができる取組を行います	B	取組は継続するが、新たな手法を取り入れるため
県外、海外についての学習、異文化交流できる機会を作ります	E	学校主体で既に取り組んでいるため

【取組3】保育園・小学校・中学校の子どもが交流する機会をつくります

内容	評価	評価の理由
小学生の中学校一日入学や小中学生の保育園訪問（花植え、清掃）などのイベントを実施します	E	学校主体で既に取り組んでいるため

第1期よこせとコミュニティ計画の評価（活性化部会）

【取組1】自然を守り、親しむ取組を実施します

内容	評価	評価の理由
南嶺ハイキングや二ロギ釣り大会など、これまでのノウハウを引き継ぎ、地域の自然を活かしたイベントを実施します	A	コロナ禍でできていなかったが、継続していく
海、山、川、街で様々な人を巻き込んだ清掃活動を実施します（浦戸湾・七河川一斉清掃、8月8日ロードボランティア、横浜小学校自然学習林清掃活動など）	A	コロナ禍でできていなかったが、継続していく
花の名所を知る、作るなど地域を花いっぱいにする活動を実施します	E	既に各地区で取り組んでいるため
魚やホタルなど、生物を知る学習会を開催します	E	南嶺ハイキングや二ロギ釣りで実施しているため
他地域とも連携して、浦戸湾一周サイクリングロードや周遊コースについて検討します	D	時間をかけて少しずつ検討していくため、取組として残す
安全な釣り場の整備やアスレチックの設置など、自然に親しむ環境の整備について検討します	E	実施困難と判断したため

【取組2】お祭りやイベントなどで地域を盛り上げます

内容	評価	評価の理由
既存イベントの発展、継続を目指します	A	継続が必要な取組のため

企画段階から大学生や子どもと協力しながら、秋冬まつり、ハロウィン仮装行列や子ども祭り、マラソン大会、マスコットキャラクターの作成などに取り組みます	C	第1期計画内容のうち、できるものをやっていく
よさこいの演舞場や競技場の設置に向けて、検討、協議します	E	実施困難と判断したため
近隣地域との日頃からの交流を深めるため、合同イベントを企画します	E	あ敢えて掲載する必要はないと判断したため

【取組3】地域内外に地域の魅力を発信するなど、交流人口を増やす取組を行います

内容	評価	評価の理由
地域の魅力紹介として、“よこはまカルタ”や“旅行雑誌横浜版”、“歴史探訪まちあるき冊子”などを作成します	C	未作成のものは引き続き取り組む。作成済のものは周知したり、より良くする方法を考える
直販店や交流の場の整備について検討します	E	実施困難と判断したため
地域内の空き家や病院、量販店、スポーツ施設などを調査し、地域活動での利用や移住・定住につながる活用方法を検討します	E	空き家対策は福祉に関わってくる。新たにできることを検討する

【取組4】若い世代が活躍できる仕組みを作ります

内容	評価	評価の理由
PTAや大学生など若い世代が関心を持つテーマを切り口とした取組を行うことで、次世代のリーダーを育成します	C	働きかけたい対象をより明確にし、それに合わせた内容に見直すため
地元企業や大学と連携して取組を行います	D	時間をかけて少しずつ検討していくため、取組として残す

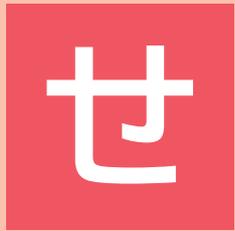
第1期よこせとコミュニティ計画の評価（共通項目）

【取組】地域内外の情報を収集発信し、地域の連携や活性化に活かします

取組	評価	評価の理由
アンケート調査やインターネットの活用により、地域住民の意見や地域内外の情報を収集します	A	詳細については全体で要検討だが、取組は維持する
広報紙等により地域情報を発信します	B	広報紙や行事カレンダー等で情報発信は行っているが、行事カレンダーの運用改定等、全体で協議を進めながら、より良い方法を模索していく
ホームページやSNSを立ち上げ、よこせとの魅力をPRします	B	ホームページやSNSは立ち上げ済。今後はこれらを活用した発信に力を入れていく

第1期よこせとコミュニティ計画の評価（関連する高知市の取組から抜粋）

取組	取組内容
交通の意識啓発について	交通ルール・マナーについての指導や自転車乗用時のヘルメット着用について呼びかけを行い、横浜小学校、横浜中学校でも交通安全教室を開催している
学校を中心とした防災教育について	2021年度（令和3年度）については、横浜小学校において防災参観日を開催し、講師を招いて講演を実施した



せだいをこえて



横浜保育園

YOKOSETO

Ⅲ 計画本編

今の「よこせと」はどんな地域ですか？

5年後の「よこせと」はどんな地域になっていて欲しいですか？

この計画は、「よこせと」が目指す未来を実現するため、自分たちに何ができるかを、大人だけでなく、子どもたちも一緒になって考え、いろいろな意見を出し合ってつくられました。

本編では、2023年度（令和5年度）から5年間で「よこせと」が取り組むことについて、具体的な事業内容やスケジュールを、行政側の支援^{しえん}や関連する取組など交えて紹介していきます。

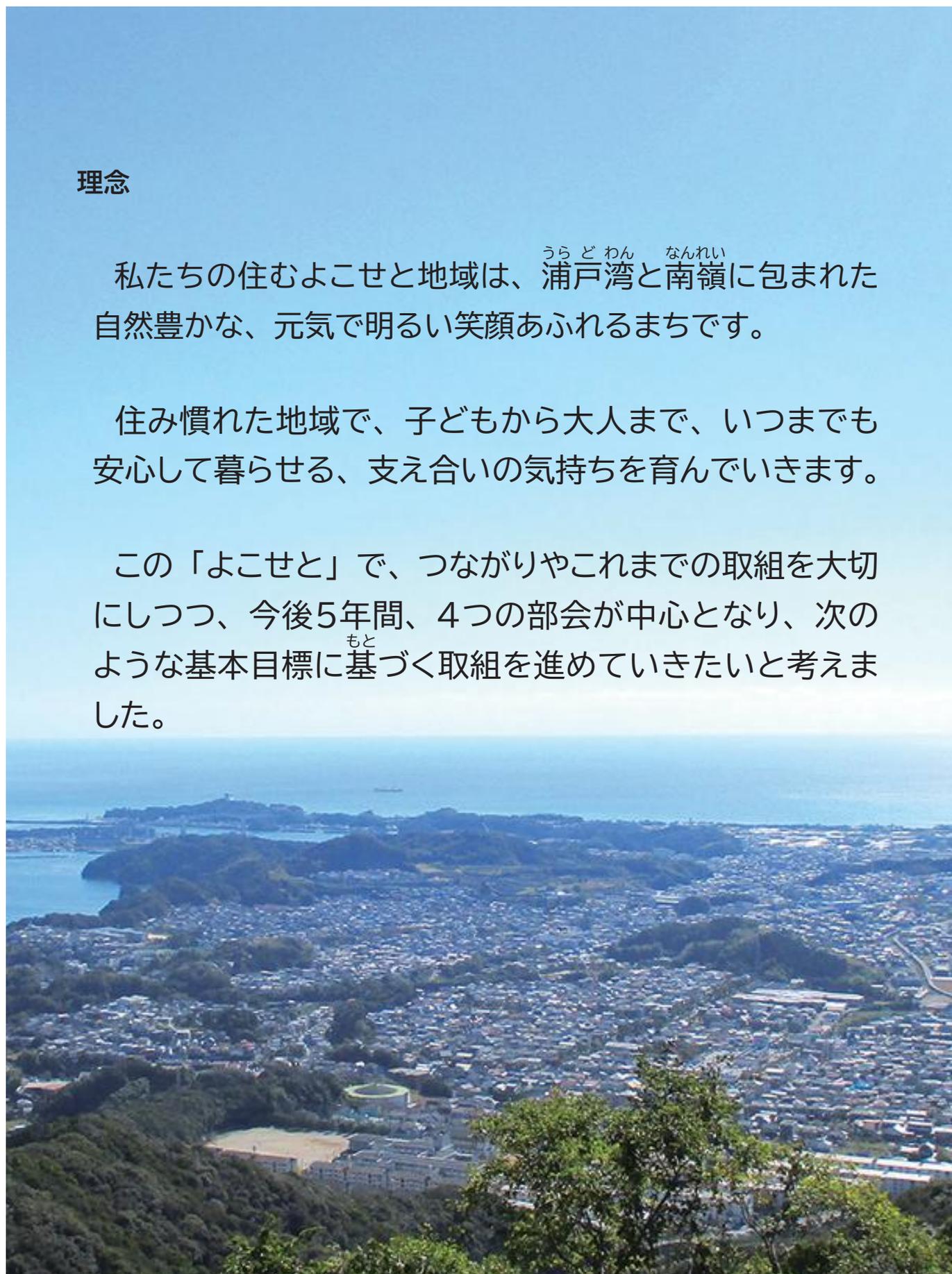
1 理念と将来像

理念

私たちの住むよこせと地域は、^{うらどわん なんれい}浦戸湾と南嶺に包まれた自然豊かな、元気で明るい笑顔あふれるまちです。

住み慣れた地域で、子どもから大人まで、いつまでも安心して暮らせる、支え合いの気持ちを育んでいきます。

この「よこせと」で、つながりやこれまでの取組を大切にしつつ、今後5年間、4つの部会が中心となり、次のような基本目標に^{もと}基づく取組を進めていきたいと考えました。



将来像 『元気で明るい笑顔あふれるまち』

基本目標

安全安心部会

安全に安心して暮らせる
住み心地の良いまち



ふくし 福祉部会

多世代で地域がつながる
楽しいまち



子ども部会

子どもがいきいきと活躍
できるまち



活性化部会

地域の宝を活かしてつながる
楽しく豊かなまち



こどもく 共通項目 情報発信・収集

地域情報が見える化し住民が
地域活動に参加しやすいまち



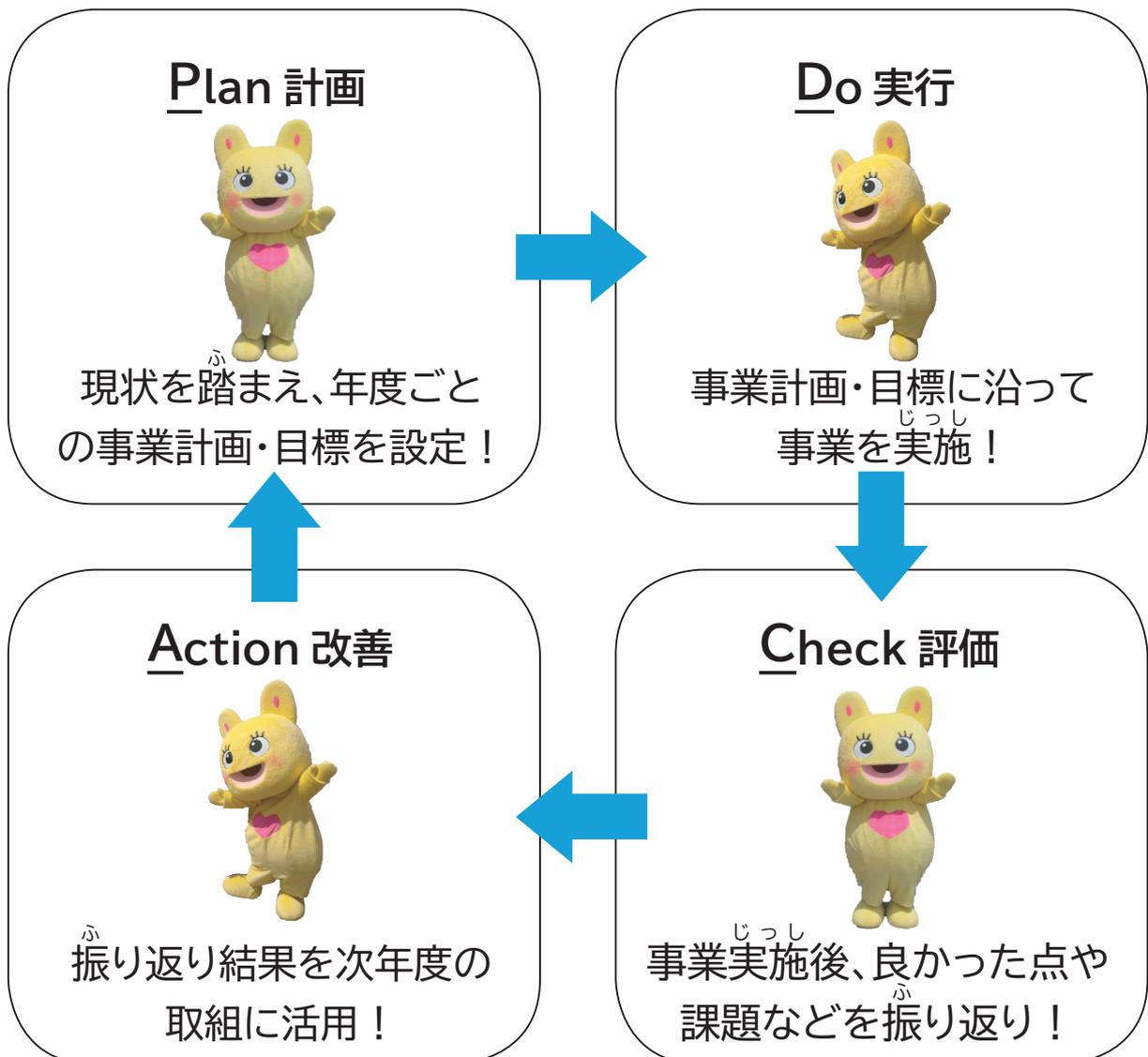
横浜中学校
マスコットキャラクター
よこぴょん

2 計画の取組期間

よこせとコミュニティ計画は、2023年度（令和5年度）から2027年度（令和9年度）までの5年間を計画期間としています。

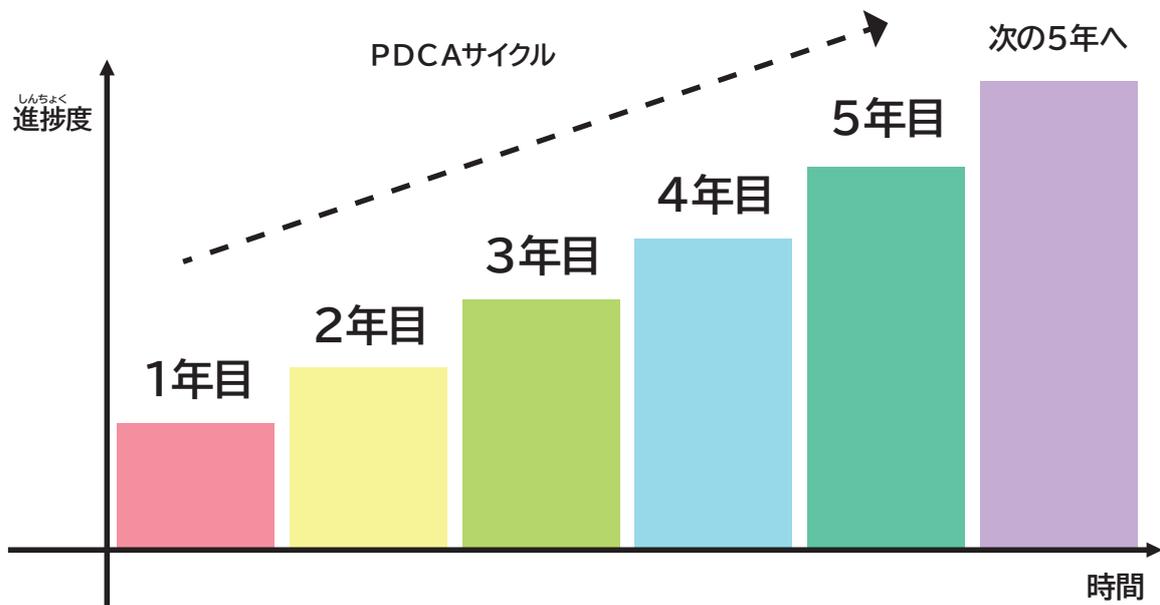
計画を推進する際は、PDCAサイクル（Plan・計画→Do・実行→Check・評価→Action・改善）に^{もと}基づき、年に一度計画の進捗^{しんちやくじょうきよう}状況を確認し、改善を重ねていくことで、「元気で明るい笑顔あふれるまち」の実現を目指します。

●PDCAサイクルに^{もと}基づいた計画推進のイメージ



●PDCA サイクルの効果

計画推進に PDCA サイクルを取り入れることで、年度ごとの目標に沿って取組を実施することができるだけでなく、進捗管理もしやすくなります。



目標に向かって
5年間取り組みます！



横浜中学校マスコットキャラクター
よこぴょん

3 計画内容

実施主体	基本目標	テーマ	取組事業・期間（2023～2027年度）	掲載ページ
安全安心部会	安全に安心して暮らせる 住み心地の良いまち	01 防災	◆防災啓発事業 ・防災学習会等のイベントを通じた啓発活動 ・災害に対する呼びかけや火の用心の見回り ◆防災力アップ事業 ・避難訓練や災害時の町内放送訓練等の実施 ・避難所開設・運営訓練の実施	30
		02 道路・交通	◆安全な道路環境づくり事業 ・道路の安全や防災面で危険な場所の調査・確認 ◆交通安全啓発事業 ・自転車乗車時のヘルメット着用の推奨 ・通学路の交通安全指導を通じたつながりづくり ・通学路の交通安全指導への協力呼びかけ	31
福祉部会	多世代で地域がつながる 楽しいまち	03 支え合い	◆ご近所力強化事業 ・向こう三軒両隣を意識した“ご近所力”の強化 ◆くらしの解決力アップ事業 ・地域課題の解決に向けた学習や話し合いによるくらしの解決力強化	32
		04 つながり	◆いきいき健康づくり事業 ・百歳体操や健康講座などの実施・周知 ・徒歩で通いやすい百歳体操会場の開設の検討 ◆多世代交流事業 ・子育てサロンの周知 ・地域内の多世代交流の促進	33
子ども部会	子どもがいきいきと活躍できるまち	05 子どもの成長	◆子どもが遊びやすい公園事業 ・安全で、子どもたちが遊びやすい公園の整備の検討 ・横浜小学校区内の公園の情報の集約・周知 ◆子どもの活躍の場づくり事業 ・子どもが地域活動に関わる機会づくり	34

じっし 実施主体	基本目標	テーマ	取組事業・期間（2023～2027年度）	けいさい 掲載 ページ
活性化 部会	地域の宝を 活かしてつながる 楽しく豊かなまち	06 自然・環境	◆自然を守り親しむ事業 ・地域の自然を活かしたイベントの実施 ・清掃活動の実施 ・浦戸湾散策ロードの検討	35
		07 にぎわい	◆にぎわいづくり事業 ・既存イベントの発展・継続 ・楽しい行事などの検討	36
		08 活性化	◆地域の魅力発信事業 ・地域の魅力紹介 ・地域内の施設の活用方法の検討	37
		09 若い世代 の活躍	◆若い世代の活躍の場づくり事業 ・次世代のリーダーの育成 ・地元企業や大学と連携した取組の実施	38
共通項目	地域情報を見える化し 住民が地域活動に 参加しやすいまち	10 情報発信 ・収集	◆地域情報発信・収集事業 ・地域住民の意見や地域内外の情報の収集 ・広報紙等による地域情報の発信 ・ホームページやSNS を活用したPR	39

01 防災

最強の防災力は“地域のきずな”

災害時に備え、日頃からの声かけでつながりをつくり、自分の命だけでなく、地域のみんなまで助け合えるよう防災力を高めよう！

安全安心部会の取組内容 ～安全に安心して暮らせる住み心地の良いまち～

防災啓発事業

- ・防災学習会等のイベントを通じて、防災啓発に取り組みます。
- ・見回り隊を結成し、災害に対する呼びかけや火の用心の見回りなどを行います。

防災力アップ事業

- ・避難経路マップを活用した避難訓練や災害時の町内放送訓練等を実施します。
- ・避難所運営マニュアルを活用した避難所開設・運営訓練を実施します。



講師を招いて防災研修を開催



AEDの使い方を学ぶ



避難所開設訓練ではしご車体験

高知市も
応援します！



高知市

自主防災組織への支援

●防災啓発活動に対する支援

- ・自主防災組織が実施する学習会や啓発活動に対し、費用補助を行います。
- ・また、学習会開催にあたっては、市職員が講師となり、防災に関するテーマの講習を行うこともできますのでご相談ください。
- ・ハザードマップや啓発チラシ等の配布により、地域の防災啓発活動に協力します。

●各種防災訓練に対する支援

- ・自主防災組織が実施する各種訓練に対し、費用補助を行います。
- ・避難所運営マニュアルを活用した避難所開設・運営訓練に対し、備品の貸出や訓練指導等の支援を行います。

【地域防災推進課 088-823-9040】

02 道路・交通

「エブリデイ無事故」を目指そう！

少しの気の^{ゆる}緩みで起こる交通事故。大人は子どものお手本に、一人ひとりが心に^{よゆう}余裕を持ち、危険箇^{かしよ}所に気をつけて、みんなで目指そう「事故0（ゼロ）の毎日」を。

安全安心部会の取組内容 ～安全に安心して暮らせる住み心地の良いまち～

安全な道路^{かんきよう}環境づくり事業

- ・道路の安全や防災面で危険な場所を調査、確認します。

交通安全^{けいはつ}啓発事業

- ・子どもたちを中心に、自転車乗車時のヘルメット着用を^{すいしょう}推奨します。
- ・通学路の交通安全指導を通じて、地域内のつながりをつくります。
- ・子どもの保護者やその家族等に通学路の交通安全指導への協力を呼びかけます。



進学路の交通安全指導



自転車に乗るときはヘルメット着用



横浜小学校で自転車運転指導

関連する高知市の取組

危険箇^{かしよ}所の整備について

危険箇^{かしよ}所の整備の要望につきましては、現地調査等を行い、緊急性の高いものについて、予算の範囲内において、順次対応します。

【道路管理課 088-823-9379 道路整備課 088-823-9461】

瀬戸東保育園周辺の安全対策について

斜面^{しゃめん}の点検を行った結果、今すぐ^{はくらく}剥落する危険性はないため、法面^{のりめん}に変化が生じた場合には、状況^{じょうきょう}に応じて対策の検討を行います。

【道路管理課 088-823-9379 道路整備課 088-823-9461】

瀬戸東保育園周辺の急傾斜地^{きゅうけいしゃち}対策について要望がありましたら、高知県と連携^{れんけい}を図りながら、現地確認を行った上で対応を検討します。

【地域防災推進課 088-823-9040】

交通安全の意識^{けいはつ}啓発について

高知市では、交通安全教育推進のため、交通安全教育指導員等が保育園・幼稚園・学校等で交通安全教室^{かいさい}を開催しており、その中で自転車利用時のヘルメット着用を呼びかけています。また、2023年（令和5年）4月から全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務^{ぎむ}となることを受け、子どもだけでなく、広く一般^{いっぱん}に向けてもより一層の啓発^{けいはつ}を行っていきます。

【くらし・交通安全課 088-823-9487】

03 支え合い

住み慣れた地域でいつまでも…

よこせとが子どもから高齢者まで、安心して暮らせるまちであり続けるために、支え合いの気持ちや助け合いの力を育み、くらしの課題を解決していきましょう！

福祉部会の取組内容 ～多世代で地域がつながる楽しいまち～

ご近助力強化事業

- ・地域包括支援センターや高知市社会福祉協議会等と協力して、「支え合いマップ」などに興味・関心のある町内会でモデル的に作成し、他町内会にも広げていくことで、向こう三軒両隣を意識した“ご近助力”の強化に取り組みます。

くらしの解決力アップ事業

- ・ほおちよけんネットワーク会議や福祉部会の定例会等を活用し、介護保険の勉強会や認知症サポーター養成講座、ボランティア学習会等の、地域生活課題の解決に向けた学習や話し合いを行うことで、くらしの解決力アップを図ります。

高知市等も
応援します！



高知市・
市社協

「支え合いマップ」作成に対する支援

- ・地域包括支援センター、高知市社会福祉協議会、地域防災推進課と協働して支援します。

【基幹型地域包括支援センター 088-823-9121】

- ・避難行動要支援者対策の取組の一つとして作成する場合は、必要物品の提供、講師（市職員）派遣、取組にあたっての相談支援等を行います。

【地域防災推進課 088-823-9040】

地域課題の解決に向けた学習や話し合いに対する支援

- ・介護保険制度、成年後見制度などの出前講座に対応しています。

また、認知症カフェの普及啓発や認知症サポーター養成講座を開催しています。

【基幹型地域包括支援センター 088-823-9121】

- ・地域福祉コーディネーターが、住民主体の地域福祉活動に対して学習の機会や話し合う場の運営支援を行います。

【高知市社会福祉協議会 地域協働課 088-823-9570】



出前講座

情報コーナー

ほ おちよけんネットワーク会議とは？

相談窓口寄せられる相談内容や住民が日常的に見聞きする困りごと等の共有を図りながら、参加者自らが解決の主体となって新たなつながりや社会資源を生み出していくための話し合いの場です。

よこせとでは、福祉部会の話し合いの場を活用し、地域のスーパーなどの企業にも参加してもらいながら実施します。

住民同士の助け合いを基本に
知恵を出し合い困りごとの解決に
向けた活動へとつなげていきます。



04 つながり

人のつながりで心も体も元気に！

よこせとの自慢といえど「人と人とのつながり」。安心して集える居場所づくりや世代間交流を促進し、みんなが心も体も元気でいられるまちづくりに取り組んでいきましょう。

福祉部会の取組内容 ～多世代で地域がつながる楽しいまち～

いきいき健康づくり事業

- ・日頃からの健康づくり活動として、いきいき百歳体操や健康講座などの実施、周知に取り組みます。
- ・徒歩で通いやすいいきいき百歳体操会場の開設を検討するなど、住民の健康づくりの場を広げます。

多世代交流事業

- ・子育てサロンの周知を行い、地域とつながり安心して子育てできる居場所づくりに取り組みます。
- ・子育てサロンの開催や、それによってできたつながり、ノウハウ等を活かすことで、地域内の多世代交流を促進します。

高知市も
応援します！



健康づくり活動に対する支援

- ・自治公民館やPTA等の各種団体、グループ等が公民館等を利用して行う自主的で継続的な生涯学習活動に対し、講座や学習会の講師謝金の一部を助成しています。

【文化振興課 088-821-9215】

- ・高齢期を健康に過ごすための栄養改善活動や健康講座等の出前講座を実施します。

- ・いきいき百歳体操会場の新規立ち上げを支援します。

【基幹型地域包括支援センター 088-823-9121】

子育てサロンの運営に対する支援

- ・高知市社会福祉協議会や母子保健課と連携した相談支援や、広報活動に協力します。

【子ども育成課 088-823-9482】

- ・子育てサロンへの保健師の派遣や、対象となる母子への周知等に協力します。

【母子保健課 088-855-7795】

情報コーナー

よこせと地域に子育てサロン「よこせと親子であそぼう！」ができました！

第1期よこせとコミュニティ計画を推進するなかで、「よこせとに子育てサロンをつくりたい！」という想いから、2021年（令和3年）12月、福祉部会が立ち上げました。

ハロウィンやクリスマスなどの季節に合わせた内容や絵本の読み聞かせ等をとおして、大人も子どもも楽しく交流しています。子育て経験者や保育士のスタッフがいるので、子育ての不安や悩みの相談もできます。気軽にご参加ください！

場 所 高知市横浜東町 4-1 横浜文化センター 2 階
日 時 毎月第3水曜日 10:00～11:30
問合せ 090-8283-1382（下村）
088-855-6388（長浜・御雲瀬・浦戸地域包括支援センターサテライト）



お知らせは
Instagram
から



ゆったりとした環境で交流できます

05 子どもの成長

応援しよう！子どもの成長

よこせとキッズは無限の可能性を秘めている原石です。できること、やりたいことなど様々なことにチャレンジできる環境づくりに取り組みましょう。

子ども部会の取組内容 ～子どもがいきいきと活躍できるまち～

子どもが遊びやすい公園事業

- ・安全で、子どもたちが遊びやすい公園の整備に向けて検討します。
- ・子どもたちが各公園の特徴を知ったうえで遊べるように、横浜小学校区内の公園の情報の集約・周知に努めます。

子どもの活躍の場づくり事業

- ・子どもたちが、サマーフェスティバル in YOKOHAMA やよこせと海辺のにぎわい市などのイベント運営に関わる機会をつくり、主体性や責任感、地域への愛着を育みます。

高知市も
応援します！



高知市

公園の整備に対する支援

・公園愛護会等が行う公園の草刈りで出た草は、連絡を受けて回収作業を行います。フェンス等の整備については、ご相談ください。

【みどり課 088-823-9469】

子どもたちによるまちづくり活動に対する支援

・高知市こどもまちづくり基金助成事業「こうちこどもファンド」では、子どもたちの自発的なまちづくり活動に対して上限20万円の範囲内で助成します。

【地域コミュニティ推進課 088-823-9080】

情報コーナー

地域で活躍する子どもたちを紹介します！

よこせには昔から、子どもたちが地域活動で活躍する伝統があります。5月に灘漁港で開催される「よこせと海辺のにぎわい市」では、横浜中学校生徒会が、自分たちで育てたマリーゴールドの苗を販売しています。よさこい祭りの前日に観光道路を掃除する「8月8日ロードボランティア」では、横浜中学校生徒会や横浜フェニックス（バスケットボールクラブ）、横浜 JPC（卓球クラブ）等が大勢参加しています。子どもたちが主体的に地域活動に関わることができる環境づくりに一層取り組んでいきます！



横浜中学校生徒会が花苗を販売
(よこせと海辺のにぎわい市)



横浜中学校生徒会による閉会式
(8月8日ロードボランティア)



横浜フェニックスがゴミ拾い
(8月8日ロードボランティア)

海・山・川などよこせとでは遊ぶところがいっぱい！自然の魅力を見て、触って、感じて、再発見してみよう！！

活性化部会の取組内容 ～地域の宝を活かしてつながる楽しく豊かなまち～

自然を守り親しむ事業

- ・南嶺ハイキングや浦戸湾海洋調査ニロギ釣りなど、これまでのノウハウを引き継ぎ、地域の自然を活かしたイベントを実施します。
- ・海、山、川、街で様々な人を巻き込んだ清掃活動を実施します。(8月8日ロードボランティア、浦戸湾・七河川一斉清掃など)
- ・他地域とも連携して、浦戸湾散策ロードの検討を行います。

高知市も
応援します！



かんきょう
環境美化活動に対する支援

・地域が一体となって行う清掃活動等について、ゴミ袋の提供、火バサミの貸与等を行っています。

【地域コミュニティ推進課 088-823-9080】

情報コーナー

よこせとの自然を楽しむ

よこせとには、豊かな自然を体験できる、楽しいイベントがたくさんあります！

南嶺ハイキングは、世代間交流を楽しみながら鷲尾山を登る恒例行事です。よこせと地域を一望できる山頂では、レクリエーションや昼食も楽しめます。

浦戸湾海洋調査ニロギ釣りは、子どもたちが浦戸湾の豊かな自然を体験する機会となっています。最後は自分たちが釣ったニロギを調理し、ニロギ汁をいただきます！



鷲尾山山頂で交流 (南嶺ハイキング)



いざ海へ出発！ (ニロギ釣り)



釣果に喜ぶ子どもたち (ニロギ釣り)



鷲尾山山頂で炊き出し (南嶺ハイキング)

07 にぎわい

あつまろう！よこせとの仲間

どんなに楽しいイベントであっても1人ではできません。一緒に汗をかいてくれる仲間がいるからこそ楽しいと思えますよね。

活性化部会の取組内容 ～地域の宝を活かしてつながる楽しく豊かなまち～

にぎわいづくり事業

- ・既存イベントの発展、継続を目指します。
- ・企画段階から大学生や子どもと協力しながら、ハロウィン仮装行列やマスコットキャラクターの作成などの楽しい行事等を検討します。

高知市も
応援します！



イベント情報の周知に対する支援

- ・地域コミュニティ推進課と連携し、高知市HP などでのイベント情報の周知に協力します。
- 【観光魅力創造課 088-803-4319】

情報コーナー

よこせと自慢のイベントを紹介します！



「よこせと海辺のにぎわい市」は、にぎわい創出と灘漁港付近の環境美化を目的に開催されるイベントです。出店や新鮮な魚介類の販売、ピングゲームなど、楽しい催しも充実しています。



「サマーフェスティバル in YOKOHAMA」は、多世代交流ができるよこせとの夏まつりです。ゲームや飲食の出店、子どもたちによる音楽、ダンスなど楽しい内容が盛りだくさんです！



よこせとの冬といえば、新年会！地域内や近隣地域の方と、お酒を酌み交わしながら、まちづくりの未来について熱く語ります。恒例の箸拳ゲームも大変盛り上がりします。

瀬戸東3丁目のハロウィンイベント

瀬戸東町3丁目では、ハロウィンの日に仮装した子どもたちが風船を片手に近所の家々を訪ね歩き、お菓子をもらう仮装行列を行っており、子どもたちに大好評のイベントの一つとなっています。

こうした好事例が他の町内にも広がっていくことを目指し、活性化部会は今後検討を進めていきます。



お菓子をもらいに家々を訪ねる親子

08 活性化

広げよう！よこせとの輪

アンケート調査の結果、「よこせとは住みやすいまち」ということがわかりましたが、この魅力^{みりょく}を知らない人が多いのではないのでしょうか。もっとPRを行い、よこせとの輪を広げよう！

活性化部会の取組内容 ～地域の宝を活かしてつながる楽しく豊かなまち～

地域の魅力^{みりょく}発信事業

- ・地域の魅力^{みりょく}紹介として作成した、“よこせとまちめぐりMAP”や“歴史探訪冊子^{たんぽう}”などの活用に向けて周知を行います。
- ・地域内の病院^{りょうはんでん}や量販店^{しせつ}、スポーツ施設などを調査し、地域活動での利用について検討します。

高知市も
おうえん
応援します！



高知市

観光を目的とした地域広報冊子の周知に対する支援^{しえん}

- ・地域コミュニティ推進課^{れんけい}と連携し、高知市HP などでの観光を目的とした地域広報冊子の周知に協力します。

【観光魅力創造課 088-803-4319】

情報コーナー

地 域内の施設をもっと活用したい！

「観桜荘^{かんおうそう}」という施設^{しせつ}をご存じですか？

観桜荘は、まちの病院「海辺の杜^{もり}ホスピタル」が管理している農作業小屋兼宴会場^{けんえんかいじょう}で、地域活動にも開放されています。桜の季節には、お花見等の地域交流の場としても活用できます。縁側^{えんがわ}のみの利用の場合は予約不要ですが、屋内を利用される場合、地域住民の方は減免^{げんめん}での利用が可能ですので、お気軽にお問合せください。

【海辺の杜^{もり}ホスピタル 088-841-2288】



自然を楽しみながら、地域交流を楽しめます！



「観桜荘^{かんおうそう}」というだけに、春は桜がきれいです！

地域活動に「若い」も「ベテラン」も関係ありません！それぞれが興味のある分野で、のびのびと活動し、未来へつながる環境をつくろう！

活性化部会の取組内容 ～地域の宝を活かしてつながる楽しく豊かなまち～

若い世代の活躍の場づくり事業

- ・PTA やスポーツ少年団等の保護者など若い世代が関心を持つテーマを切り口とした取組を行うことで、次世代のリーダーを育成します。
- ・地元企業や大学と連携して取組を行います。

高知市も
応援します！



地域活動の担い手育成に対する支援

・地域活動の担い手の育成や、現在地域活動を行っている団体の悩みを解決する「地域活動実践ゼミナール」を開講します。

【地域コミュニティ推進課 088-823-9080】

情報コーナー

保護者たちが地域で活躍できる場を広げたい！

よこせとでは、体育会や青少年育成協議会等がPTAやスポーツ少年団等に所属する保護者たちと、サマーフェスティバル in YOKOHAMA 等のイベントの運営や懇親会等で交流する機会を設け、つながりをつくることで、子どもが学校を卒業した後も、保護者たちが地域で活躍しやすい環境づくりを行ってきました。

近年はコロナ禍により、交流の機会を十分に持つことができていませんでしたが、地域と保護者の交流に加え、若い世代が関心を持つテーマを切り口とした取組の実施により、若い世代の活躍の場づくりにより一層取り組んでいきます！



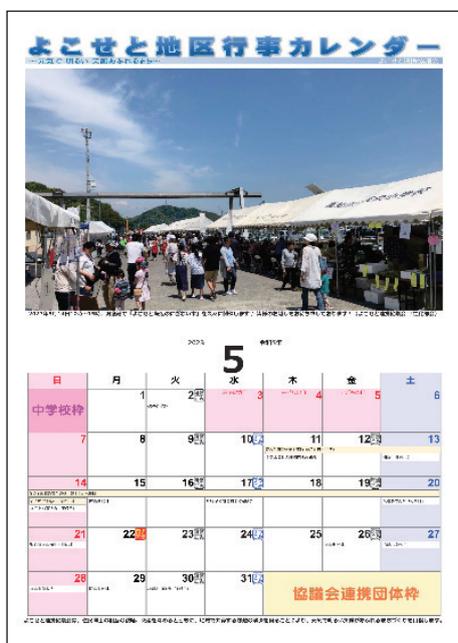
スポーツ少年団の子どもたちに指導する保護者

よこせとの様々な取組や魅力をもっともっと集め、地域内外に「よこせとはこんな良いまち」とPRしよう！

“よこせと”の取組内容 ～地域情報を見える化し住民が地域活動に参加しやすいまち～

地域情報発信・収集事業

- ・アンケート調査やインターネットの活用により、地域住民の意見や地域内外の情報を収集します。
- ・広報紙等により地域情報を発信します。
- ・ホームページやSNS を活用し、よこせとの魅力をPRします。



よこせと地区行事カレンダー

よこせと地区行事カレンダー

よこせと連携協議会所属団体の各種行事が一目でわかるカレンダーを作成し、年に3回、活動区域内の各世帯に配布しています。

ごみの収集日や小学生の防災・交通標語を入れるなど、地域のみなさんに活用してもらえるよう工夫をしています。

2022年（令和4年）12月からはデザインを一新し、地域のみなさんの家に飾ってもらえるようなカレンダーを目指しています。

よこせと地区行事カレンダーも掲載！



よこせと連携協議会 ホームページ

よこせと連携協議会ホームページで事業案内や各部会の活動報告を行っています。

地域のみなさんが活用しやすい行事カレンダーやホームページとなるよう、これからも情報発信を工夫していきます！



広報担当 中村さん



ホームページ
二次元コード

関連する高知市の取組

地域情報発信の支援について

高知市公式 LINE アカウント内に、地域内への行事等の情報発信を行うための環境整備を行います。

【広聴広報課 088-823-9446】



ともにあゆむ



第8回よこせとまちづくり会議(2023年(令和5年)2月8日)

YOKOSETO

IV 資料編

1 コミュニティ計画について

これまでの取組経過

高知市は、1991年度（平成3年度）策定の「高知市総合計画1990」において、総合計画と相互に補完・連携する各地区の居住地（コミュニティ）ごとのまちづくり計画を『コミュニティ計画』と位置づけ、市民と行政のパートナーシップのもと1993年度（平成5年度）から各地区において策定及び推進に取り組んできました。

各地区では、コミュニティ計画の策定に取り組む「コミュニティ計画策定市民会議」が順次設立され、これまでに1,200人を超える多くの市民が参加して、それぞれの計画案が作成されました。

計画案の市長への提言を受けて、本市では、庁内横断組織であるコミュニティ計画策定委員会及び幹事会での調整等を行い、28地区において「コミュニティ計画」を行政計画として策定するとともに、計画を実践する市民主導の自主的組織として各地区で設立された「コミュニティ計画推進市民会議」が中心となって、約20年にわたり計画登載事業の推進に取り組んできました。

また、2003年度（平成15年度）に施行した「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」において『コミュニティ計画の策定と推進』を本市の役割と位置づけるとともに、条例に基づく諸制度を推進してきました。

一方、各地区のコミュニティ計画策定から長期間が経過し、登載事業の多くが既に実施済みであることや、市内約3分の1の地域では計画が未策定であること、計画を策定した当時とは社会情勢が大きく変化していることなどから、コミュニティ計画についても、将来的な地域のまちづくりを持続可能なものとするために見直しの必要性が生じています。

【参考】これまでのコミュニティ計画の考え方

- ・市域全体を地域の視点で区分し、それぞれの地区において、土地利用のあり方や生活環境の保全・整備の課題等を検討する計画
- ・各々の居住地（コミュニティ）で、そこに住む住民の参加と創造による住民自治をベースとし、相互理解と連帯のもと、人間性豊かな心のふれあう地域社会の形成を目指し策定する計画
- ・策定に当たっては、その方法や計画の内容は、各々の居住地（コミュニティ）の特性に応じた多様なものとなる

地域コミュニティ再構築事業の展開

本市では、2010年度（平成22年度）から「地域コミュニティの再構築」に取り組んでいます。

これは、少子高齢化や人口減少の進行により、地域活動の担い手不足や住民同士の関係の希薄化といった問題が顕著となってきているなか、将来的にも地域内で住民や団体、また事業者等がお互いに支え合い、助け合えるような社会をつくり、また、これからの地域課題の解決に向けて、地域と行政が手を携えて協力していこうというものです。

その中で、概ね小学校区を範囲に、地域内で活動する個人、団体、事業者等がゆるやかにつながり、地域の現状や課題を共有するとともに、課題の解決に向けて連携・協力していくためのプラットフォームとして、各地域での「地域内連携協議会」の設立を提案しています。2023年（令和5年）3月時点で市内29地域において設立された地域内連携協議会では、各分野で活動する地域団体が参画し、地域の特性を活かした活動に主体的に取り組んでいます。その一方で、地域のまちづくりの方向性を見据えて、計画性と実効性を持った活動の推進が求められています。

モデル地域におけるコミュニティ計画策定の方針

本市が設置する「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例見守り委員会」において、2015年度（平成27年度）に今後のコミュニティ計画のあり方について議論された結果、市民と行政の協働の理念に基づき、地域の意見を踏まえてコミュニティ施策の再検討を行うことや、PDCAサイクル（Plan・計画 → Do・実行 → Check・評価 → Action・改善）による計画の検証を実施すること等について、2016年（平成28年）4月に同委員会から市長に対して提言がなされました。

提言を受けて、本市では、現行のコミュニティ計画の考え方を踏まえ、市民と行政の協働を基本として、次に掲げる「計画の構成」、「計画策定の主体」、「計画推進の主体」、「計画期間」といった視点を中心に、今後策定するコミュニティ計画について検討を行うこととしました。そこで、これまでコミュニティ計画未策定の「久重地域」と策定済の「よこせと地域」をモデル地域に選定し、2017年度（平成29年度）に「久重のまちづくり計画2017-2021」、2018年度（平成30年度）に「よこせとコミュニティ計画2018-2022」が策定されました。この結果を踏まえて検証し、新たなコミュニティ計画についての考え方を以下のとおり整理しました。

■ 住民主体で取り組めるソフト事業を中心とする

本市では、2003年度（平成15年度）に都市計画区域におけるハード面でのまちづくりの方針や具体的な取組を示した「都市計画マスタープラン」を策定し、2013年度（平成25年度）には対象区域を都市計画区域外も含む全市域に拡大し、全地域の地域別構想も盛り込んだ内容としました。これまでのコミュニティ計画に搭載していた比較規模の大きなハード事業は、都市計画マスタープランに搭載されているものになります。

こうしたことから、これまでのコミュニティ計画では、ハード・ソフトを問わず、その地域に関係する事業を網羅するものになっておりましたが、新たなコミュニティ計画では、特に地域に関わる防災、福祉、教育、コミュニティ等の分野で、地域の方々の主体的な取組が想定されるソフト事業や、地域コミュニティに係る比較規模の小さいハード事業を中心とした計画に見直すこととしました。

■ 計画策定・推進の主体は地域内連携協議会

新たなコミュニティ計画の策定・推進の主体は、地域内連携協議会としています。

これは、各地域で設立された地域内連携協議会において、コミュニティ計画推進市民会議をはじめとする地域の多くの団体が参画し、様々な視点から地域のまちづくりについて自由な意見が交わされる等、まちづくりに関わる中心的な団体となってきていることや、また、地域内連携協議会に参画する各種団体の連携・協力のもと、各地域の特性に応じた活動が実施されていることから、その活動に計画性と実効性を持たせ、将来にわたって持続可能なものとしていきたいと考えているものです。

本市では、地域内連携協議会の運営や活動を支援するため、会議での情報提供等を行う地域活動応援隊職員の配置による人的支援や、地域内連携協議会活動促進事業費補助金等による財政的支援を実施しています。また、高知市地域共生社会推進本部を中心に各担当部署との庁内横断的な連携・調整等を行うことで、市民と行政の協働によるまちづくりを目指しています。

■ 計画期間は5年間

新たなコミュニティ計画では、策定や推進に関わる主体が目標の達成に向けて一定の見通しを立てやすくするように、計画期間を5年間に設定しています。

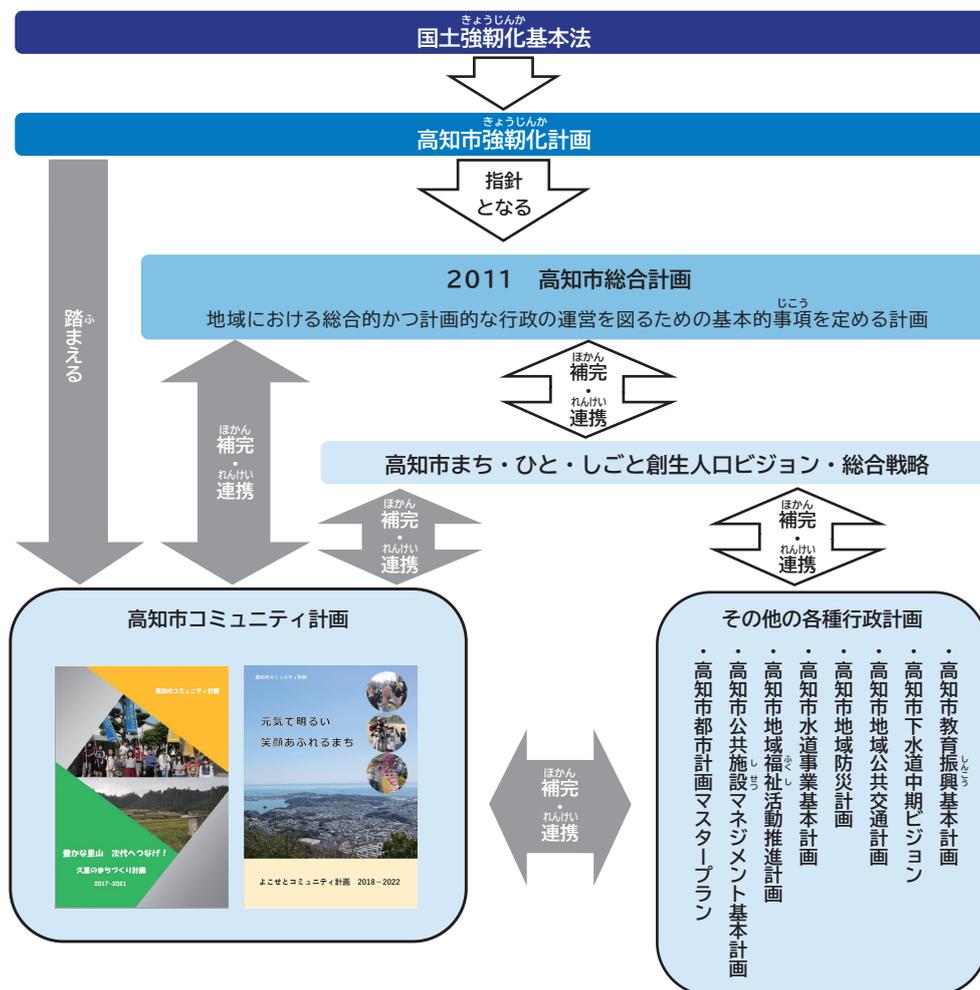
一方で、将来に向けて持続可能なまちづくりの推進を実現するためには、単年度ごとの活動を通して計画性を持って取り組むことも必要であることから、PDCA サイクルの考え方に沿って進捗状況を確認しながら、随時、計画内容の見直しや更新を行っていきます。

地域においても、それぞれの活動状況等を把握しながら、各年度の事業計画を検討し、実施につなげていくことが望ましいと考えています。

コミュニティ計画と総合計画や各種関連計画との関係

「高知市総合計画 1990」において、総合計画と相互補完する行政計画として位置づけたコミュニティ計画は、2016年度（平成28年度）に策定した「2011高知市総合計画（2016基本計画改訂版）」においても補完・連携するものとしています。

現在、本市を取り巻く状況の変化の中で、各部門別行政計画等との連携を通じた行政内部での部局横断的な対応が求められており、コミュニティ計画が地域における取組と行政の取組について、防災や福祉などの分野の枠を越えて機能的に結びつける役割を担うことが期待されており、その必要性は今後も高まっていくものと考えています。



2 計画策定の経過

年月	会議名	場所	協議内容	参加人数 ※行政職員含む
2022年(令和4年) 6月8日	第1回 よこせとまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・アンケート調査結果の報告 ・第1期よこせとコミュニティ計画 の振り返り	45名
2022年(令和4年) 7月13日	第2回 よこせとまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・具体的事業の立案	36名
2022年(令和4年) 8月17日	第3回 よこせとまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・具体的事業の立案 ・具体的事業の実施方法検討	29名
2022年(令和4年) 9月14日	第4回 よこせとまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・具体的事業の実施方法検討	32名
2022年(令和4年) 11月9日	第5回 よこせとまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・よこせと地域の将来像の設定 ・計画冊子の構成検討	23名
2022年(令和4年) 12月14日	第6回 よこせとまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・計画冊子素案の確認	19名
2023年(令和5年) 1月25日	第7回 よこせとまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・計画冊子案の確認	20名
2023年(令和5年) 2月8日	第8回 よこせとまちづくり会議	瀬戸東町 公民館	・計画冊子案の最終確認	29名

3 計画策定参加のみなさん

よこせと連携協議会の構成団体

安全安心部会 (部会長:杉本 裕公)

よこせと防災連合会
防災にこれで良いはない!
日々の備えが必要です。



杉本 裕公



竹内 隆之



弘瀬 誠一



尊田 博

高知市消防団横浜分団
火の用心の見回りや、よこせと防災連合
会と連携し防災活動を行っています。



湯山 美加

横浜校区交通安全会議
交通ルール・マナーを守り、交通事故
防止をしましょう!



宮崎 勝年



大田 芳男

横浜公民館
成人講座や夏休み子ども教室、交流会
や防災訓練等に取り組んでいます!



杉藤 良廣

よこせと町内会連合会
地域の安全を守り、安心して暮らせる住み
やすいまちを目指し、力を合わせましょう!



丸岡 圭郎



西岡 和

子ども部会 (部会長:高野 政志)

横浜小学校区青少年育成協議会
地域の小学生や中学生の校外での活動等、
青少年の健やかな成長を支援しています!



田中 敏幸



下村 文恵



土居 有紀

横浜中学校PTA
子ども達が「地域に育ててもらった」と思
える活動を目指しています。



門脇 忍

横浜小学校PTA
人と人、親と子、地域ともつながり
築き深め合うPTA活動を目指します。



高野 政志



福島 奈美

横浜中学校
生徒会を中心にイベントへ積極的に参加しています。
地域と関わりを持ち、協力してよこせとを魅力ある地域
にしたいと考えています。



梶原 校長先生

横浜小学校
地域とともにある学校づくり
を目指します。



唐岩 校長先生

福祉部会

(部会長: 下村 文恵)

長浜地区民生委員児童委員協議会・
長浜地区社会福祉協議会
生活する中での困りごとや心配ごとに関する相談に応じ、
地域福祉の推進を進めています。

てくとこ会
地域に開かれた施設運営を行っています。
今後も地域の行事やイベントに参加、
協力していきます。



高野 澄江



長野 恵子



山岡 斗子



中山 美加



藤原 麻世



久米 弘夫

海辺の杜ホスピタル
地域の皆様方に信頼される病院を目指しています

高知南福祉会・横浜保育園
地域・保護者に親しまれ、信頼される
保育所づくりを目指します。

長浜地区人権啓発推進委員会

人権は人間の基本にあるもので、誰も
が考えないといけないものです。
長浜地区には、人権委員会がありま
すので、是非参加してください。



森木 潤一郎



中野 晴夫



濱口 啓廣



仮谷 清子

長浜・御豊瀬・浦戸地域包括支援センター
介護、医療、生活の相談受け付けます(お金以外)。

Uプロジェクト

7つのUを掲げ「遊び心のあ
る社会福祉」をモットーに活
動しています。地域の皆さま
と共に楽しい場を作ってい
きたいと思います。



池上 雅志



田中 美恵



森 玉喜



黒木 知佐



小松 伊代

活性化部会

(部会長: 林 静)

横浜体育会
スポーツやイベントをとおして地域の
交流を活発にしています!

広報



江口 富博



林 静



横川 良章



武崎 昌



藤田 直美



中村 州男

協力団体

計画策定事務局(高知市)

高知市社会福祉協議会

高知市地域防災推進課

高知市
地域コミュニティ推進課

高知市地域活動応援隊

発行 令和5年3月

よこせと連携協議会

高知市（地域コミュニティ推進課 088-823-9080）

④ ろこびいっぱい

③ ころあったか

② だいをこえて

① もにあゆむ